

魂のゆくえ —日本人の死生観と福音理解— 石居基夫 (日本福音ルーテル教会牧師、ルーテル学院大学学長) お相手・吉崎恵子

〈2007年10月～2008年3月放送〉

01. 「日本人」としての魂のゆくえ
02. 「スピリチュアル」な問い
03. 日本人の“たま”信仰 —『千の風になって』より
04. 日本人の二重の宗教性 —『大河の一滴』を手がかりに
05. 被造物としての人間と自然 —日本人の死生観の特徴
06. 一つの命を慈しむ神 —創世記と古事記、古事記その一
07. 命の始まり、命の終わり —水子供養、古事記その二
08. 私たちの現実に介入する神 —国見の歌、万葉集その一
09. 全ての人に差し出された救い
—桜のイメージ、万葉集その二
10. 迷う者を導かれる神 —挽歌、万葉集その三
11. むなしさを超えて —日本人の仏教受容、仏教その一
12. 私たちを用いてくださる神の御業
—因果応報の思想、仏教その二
13. 聖書の描く嘆きと救い —無常観と末法思想、仏教その三
14. 天のふるさと —西行の辞世の歌
15. 私の名前を呼ぶ神 —平忠度の最期
16. 去り行かないお方 —野ざらし紀行、松尾芭蕉その一
17. たった独りある時も —乞食の翁、松尾芭蕉その二
18. 本当の自己犠牲 —内村鑑三と武士道
19. 「神の怒りに任せなさい」 —忠臣蔵を題材に
20. 神の御手による完成 —大和心
21. 諸霊の時代に —御霊信仰とは
22. いのちは誰のものか —「生まれ変わり」の思想
23. 呼び出してくださる声を聞け —山岳信仰から
24. 本当の頼りはどこに —「靈的」なもの
25. あえて流れに逆らうまなざし —「同期の桜」を題材に
26. 聖徒の交わり —結びつきの大切さ